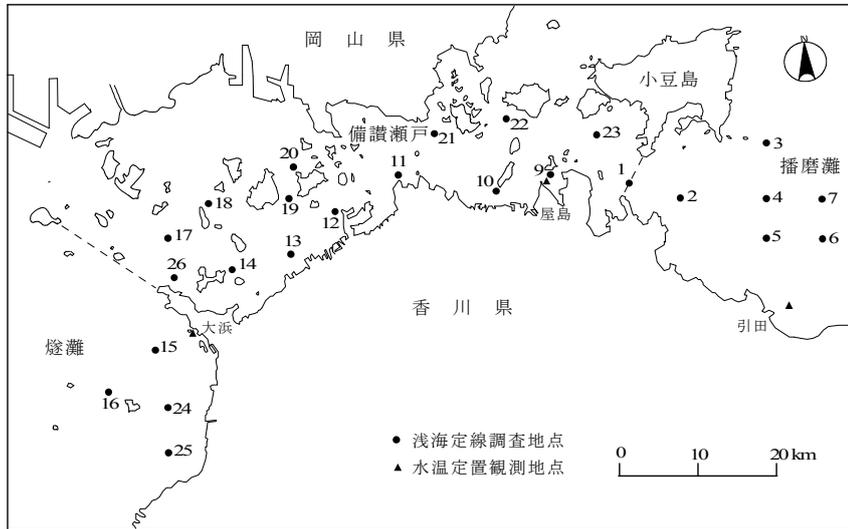


香川県漁海況速報 平成 21 年 6 月 (H21-3 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 21 年 6 月 2 日 (播磨灘)、1 日 (備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「平年並みからかなり高め」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「やや低めからかなり高め」であった。

6 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	18.9	17.7	16.4	32.2	32.3	32.5	10.9	5.25	5.10
	平年値	18.4	17.1	15.4	32.0	32.1	32.3	9.6	5.37	4.60
	平年偏差	0.5	0.5	1.0	0.1	0.2	0.2	1.3	-0.12	0.50
	標準偏差(σ)	0.8	0.7	0.7	0.5	0.5	0.4	2.8	0.33	0.34
	状 況	平年並み	やや高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	19.1	18.6	18.5	33.2	33.2	33.2	4.8	4.90	4.73
	平年値	18.0	17.6	17.4	32.2	32.3	32.3	5.0	5.21	5.08
	平年偏差	1.2	1.0	1.1	1.0	0.9	0.9	-0.2	-0.31	-0.35
	標準偏差(σ)	0.7	0.7	0.6	0.8	0.6	0.6	0.9	0.33	0.29
	状 況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	やや高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	やや低め	やや低め
燧 灘	4地点平均値	19.8	17.8	15.9	32.9	33.4	33.4	13.6	5.08	4.70
	平年値	20.4	17.0	15.2	32.5	32.7	32.9	10.3	5.42	4.38
	平年偏差	-0.7	0.8	0.8	0.5	0.7	0.6	3.3	-0.34	0.32
	標準偏差(σ)	1.1	0.8	0.7	0.6	0.6	0.5	3.1	0.41	0.54
	状 況	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

3) 定置観測 (水温)

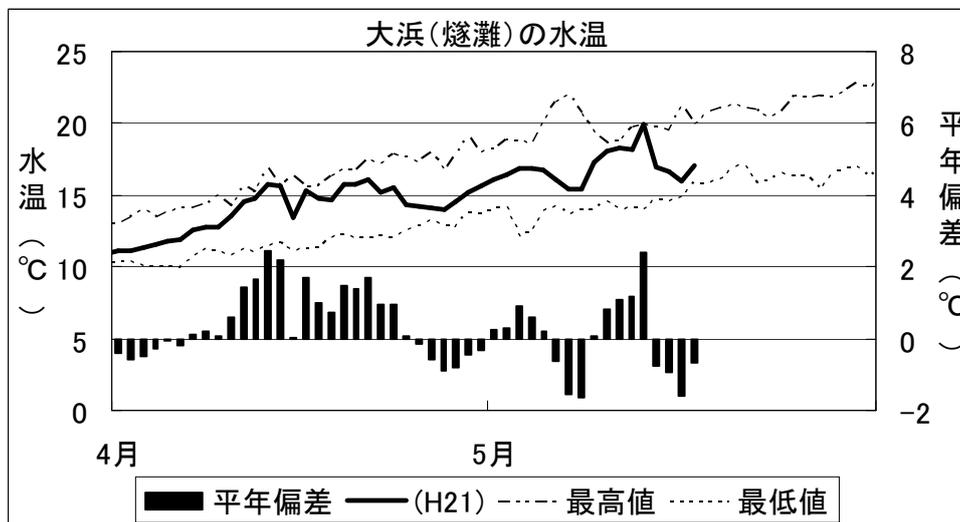
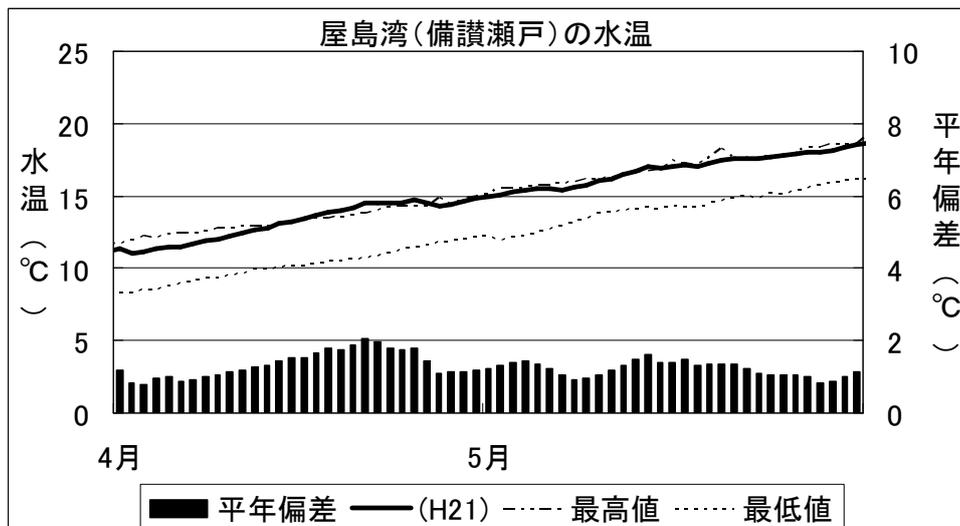
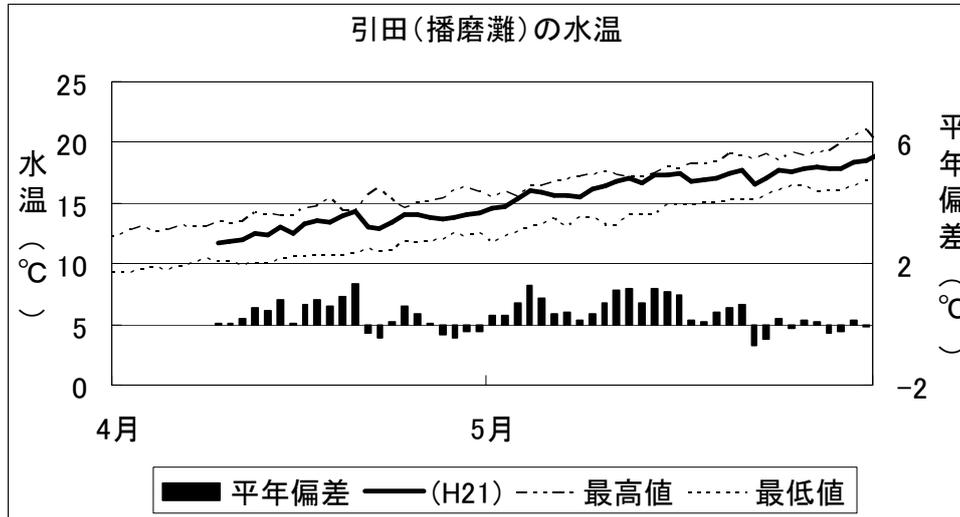
播磨灘 (引田) : 4月以降平年並みからやや高めで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 4月以降著しく高めで推移している。

燧灘 (大浜) : 4月以降平年並みからやや高めで推移し、4月下旬から5月上旬にはやや低めとなった。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 20 (2008) 年

屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 20 (2008) 年



4) 赤潮 (5月26日～6月16日)

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：6月9日に本浦漁港内で、6月10日に坂出港内でプロロセントラム・デンタータムによる赤潮が確認された。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成21年6月2日 (播磨灘)、1日 (備讃瀬戸、燧灘)

出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	2.4	18.8	0.0	0.0	0.4	0.0	4.5	4.5
	平年値	30.6	2.6	0.1	0.1				
	対平年 (%)	8	713	0	0				
備讃瀬戸	平均値	4.4	0.8	0.0	0.0	0.2	0.0	4.8	1.3
	平年値	5.4	2.8	0.2	0.1				
	対平年 (%)	81	29	0	0				
燧灘	平均値	61.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	13.6	2.7
	平年値	63.7	11.5	0.5	0.2				
	対平年 (%)	97	97	0	0				
総平均	平均値	17.2	8.0	0.0	0.0	0.2	0.0	6.8	2.5
	平年値	32.1	7.5	0.2	0.1				
	対平年 (%)	54	106	0	0				

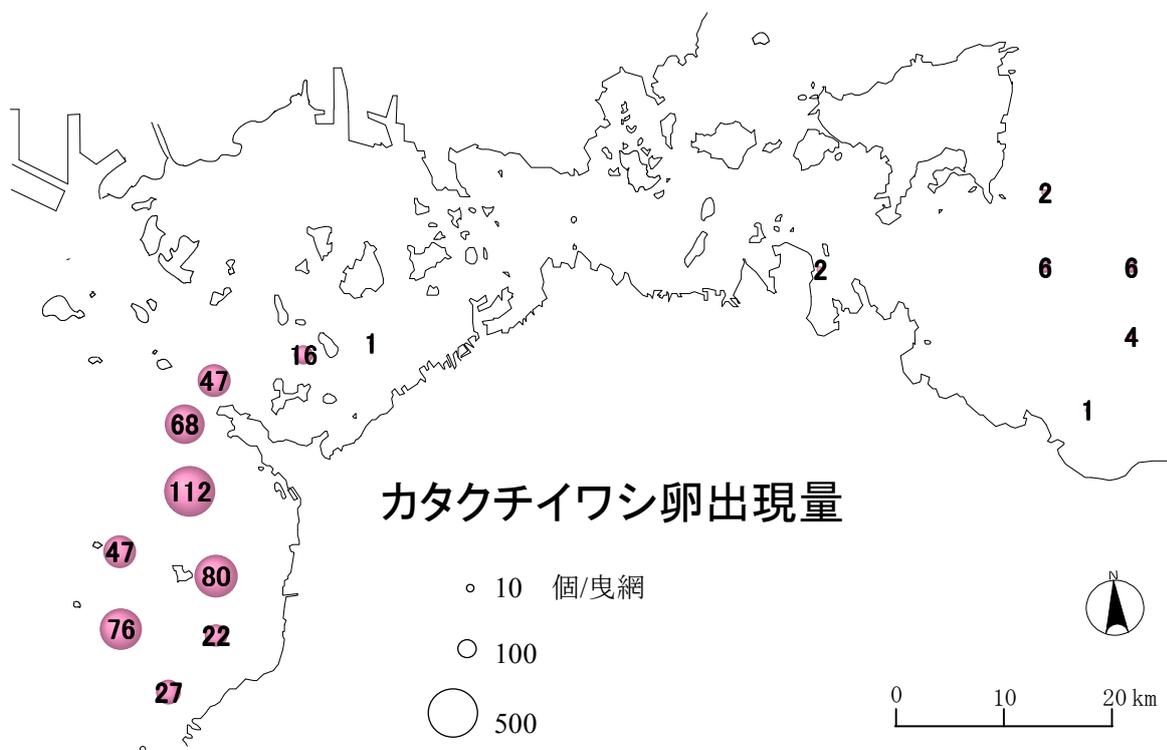
－：平年値が0の場合を示す。(サワラ及びその他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成20年(2008)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成20年(2008)年度

各調査点でのカタクチイワシ卵の出現状況は、次のとおりである。



2. 漁況

5月からの漁況は次のとおりである

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主に小エビ類、ウシノシタ類、メイタガレイが、柵網ではマダイ、コノシロ、カタクチイワシ、マアジ(小)、コウイカ類が漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>大型定置網では主にサゴシ、マルアジ、タチウオが漁獲されているが、スルメイカは例年に比べて少ない。</p> <p>東讃のいわし機船船びき網は5月23日から操業が開始されたが、5月の漁獲量は不漁であった前年を大きく上回り、6月も好漁が続いている。</p> <p>さわら流し刺網の5月までの漁獲量は、サワラでは前年並みであったが、サゴシは前年を大きく上回った。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マダイ、フグ類、マアナゴ、小エビ類、コウイカ類が漁獲されているが、メイタガレイは少ない。</p> <p>さわら流し刺網の5月までの漁獲量は、サワラでは前年を大きく下回ったが、サゴシでは前年を大きく上回った。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主に小エビ類、アカカマス、マダイ、タチウオ、シログチが漁獲されている。</p> <p>さより機船船びき網の6月の漁獲量は、約100～170kg/日・統前後ではほぼ前年並みの漁獲である。</p> <p>いわし機船船びき網は、前年と同じ6月10日から大羽漁が開始され、好漁である。</p> <p>さわら流し刺網の5月までの漁獲量は、サワラでは前年をやや下回ったが、サゴシでは前年を大きく上回った。</p>